

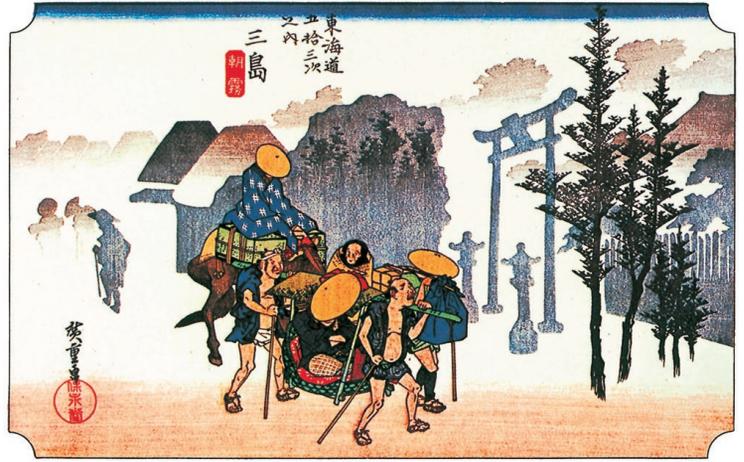


R. I. 第2620地区 静岡第グループ
三島西ロータリークラブ

週報

第223号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 森崎 祐治 幹事 川名 正洋



広重版画より 三島 朝霧

第2310回例会

2021.7.8雨

司会 秋山恭亮君

ロータリーソング 「我等の生業」
指揮 秋山恭亮君

会長挨拶 会長 森崎祐治君

今年は台風の発生も少なく風水害はここまであまり気にしていませんでしたが、今月に入って週末は静岡県から神奈川県にかけては記録的雨量を観測し熱海市伊豆山、黄瀬川で大きな被害が発生しました。

亡くなられた方々と被害にあわれた皆様に心よりお悔み、お見舞い申し上げます。そして行方不明者の一刻も早い発見救出を願うばかりです。

熱海ロータリーの会員宅も被害にあわれたようです。2620地区として災害募金を行うことになりました。ご協力よろしくお願います。

コロナ蔓延防止に気を取られていましたが自然災害はコロナとはまた関係なく手加減なく起こるものだと改めて感じた次第です。

伊豆山の土石流は衝撃的でした。こんな身近なところで大規模に発生するとは思いませんでした。原因の本格的解明はまだこれからでしょうが大量の雨と、その残土を含む地形地質との関係が検討されることになるでしょう。

ロータリーでは互いの仕事について理解を深めることは親睦や奉仕の上でも大切なことと考えます。災害と私の会社の仕事についての関連を少し話したいと思います。

大雨が降った時の狩野川、黄瀬川の流量の観測や災害が発生したときの現場調査、復旧のための災害査定資料作成、調査設計は弊社の業界の仕事の一部です。国、県、市町と業界団体が災害協定を結んでいます。

そしてこの度は当社も狩野川の流量観測、黄瀬川大橋のドローン撮影、復旧検討、伊豆山の崩落源頭部の監視調査に

出かけました。

伊豆山の土石流は時速40kmほどあったと専門家の方がおっしゃっていました。どれほど速いのかと100m走者の速さと比べてみました。先日陸上100mで9秒95の日本記録を出した山縣亮太選手のトップスピードは時速41.76km、平均スピードは時速36.18kmです。常人では時速40kmの土石流から逃げることはまず不可能です。

そのため、あらかじめ避難することが重要になってきます。人は本来なら危険な状態と判断できる事象を「大きな問題ではない」と認識する心理「正常性のバイアス」が働くそうです。人に備わったストレスから逃れようとする心の働きだということですが非常時にはこれが危険に命をさらすこととなります。冷静に素直に判断し指示に従うことが大切ですね。

出席報告

| | 出席総数 | 出席率 | メ ー ク ッ プ | 修 出 席 率 |
|-----|-------|--------|-----------------------|------------------|
| 前々回 | 43/48 | 89.58% | 45/48 | 93.75% |
| 今回 | 38/46 | 82.61% | 会員総数 | 51名 |

欠席者 赤池君、芦川君、桐部君、窪田君、橋本君、古屋君、桃瀬君、和田君

幹事報告

幹事 川名正洋君

- ①熱海豪雨災害支援金のお願い
- ②第4週22日が祭日のため次週15日が例会日となります。
- ③本日はガバナー補佐が訪問されます。
- ④本日はクラブ協議会です。
各委員長より今年度の基本方針を発表してもらいます。

2021～2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブ協議会

SAA

秋山恭亮君

基本方針

50周年に相応しく例会において規律を重んじるとともに、三島西ロータリークラブの「親睦を大切にする」という伝統も継承した例会運営に務める。

活動計画

- 1、適切な卓話時間を確保する。
- 2、例会中は発言者、発表者に敬意を払う。(私語を慎む、携帯マナーモードの徹底、拍手を行う)
- 3、席替え、テーブル会は年4回実施する。(コロナ等による予定の変更には柔軟に対応する。)

クラブ広報委員会

委員長 赤池克斗君

〈基本方針〉

会長方針に則り、50周年を迎える三島西ロータリークラブの価値を更に高める広報に努める。

〈活動計画〉

- (1) 週報掲載事項を迅速に事務局に報告し、円滑な発行をする。
- (2) 地域メディア等も活用し、地域社会への広報活動を積極的に行う。
- (3) ロータリー・クラブセントラルの更なる周知を図る。

会員増強維持委員会

委員長 前田博利君

〈基本方針〉

「ありがとう50年、そして新たな時代へ」の本年度のテーマのもと、歴史を引き継いで来た先輩諸兄とともにこれからの時代を見据えた会員増強・維持等に努めて参ります。

〈活動計画〉

- 1、会員数55名を目標としたい。
- 2、会員維持の為にコミュニケーションの活性化
- 3、候補者情報の収集。積極的な勧誘の推進

クラブ管理運営委員会

委員長 原 久一君

〈基本方針〉

- 1、創立50周年記念にふさわしい魅力ある例会になるよう務める。
- 2、出席率の向上を目指す。
- 3、デジタル化の啓発推進を図る

〈活動計画〉

- 1、クラブ方針に基づき卓話等プログラムの作成をする。
- 2、外部卓話の推進
- 3、卓話実績に基づき卓話者を選考する。
- 4、卓話者には、事前の確認を行う。
- 5、卓話日程の変更は、1か月前までに委員会に報告すること。

親睦活動委員会

委員長 平出利之君

〈基本方針〉

1. 親睦活動委員会メンバーの情報交換を密にして、企画力・実行力を発揮して会員と会員家族が楽しめる運営をする。
2. 50周年実行委員会への協力

〈活動計画〉

- 1 例会の受付と週報等の配布
- 2 スマイル促進の声掛け
- 3 夜間親睦例会の実施
- 4 忘年家族例会の実施
- 5 家族親睦例会の実施
- 6 さよなら例会の実施

ロータリー情報委員会

委員長 鈴木郁夫君

〈基本方針〉

1. RIや地区からのロータリー情報ははじめ、ロータリアンとして必要と思われる情報を収集し会員に伝達する。
2. 新会員にロータリーを十分理解していただくために、ロータリーの目的、定款・クラブ細則などの規則や、ロータリーの活動について説明や支援を行う。

〈活動計画〉

1. 新会員の勉強会・懇親会を会長・幹事・推薦者と共に開催し、ロータリーを理解していただく為の資料等を適宜準備し、提供する。
2. 地区大会、地区の研修会等に参加し、情報の収集に努める。
3. クラブフォーラムなどでロータリーに関する情報を卓話にて会員に提供し、ロータリーへの理解を深めていただく。
4. コロナ感染の状況を考慮しその都度柔軟に対応する。

職業・社会奉仕委員会

委員長 木村安紀夫君

・個々の会社運営を通じて社員、家族の健康と生活を守り、地域社会に貢献する

・奉仕活動に積極的に参加し、三島西ロータリークラブの活動をアピールしロータリーの奉仕活動を広く世間に知らしめ、会員の増強に務める

活動計画

今年は新型コロナの影響により、活動は大きく制限されますが、職業、社会奉仕の理念に基づき、積極的に奉仕活動を推進してまいります

・見晴フェスティバルへの参加、協力(見晴学園への援助協力)

・三島市国際交流フェアへの理解と協力を務める

・他クラブと協力して地域団体を含めた奉仕活動を計画、実施

三嶋大社及びその周辺の清掃など ロータリー奉仕デーの実施



国際奉仕委員会

委員長 千葉慎二君

当クラブを特徴づける大きな要素である苗栗RC・苗栗東南RCとの交流(とりわけ中学生交換事業)を委員会のメイン事業とする(残念ながらコロナ禍のため2年間中断している)。並んで、酒田東RC、多治見西RCとの交流を促進すると同時に、三島市国際交流協会の事業にも積極的に協力をする。

1. 苗栗からの交換中学生の受け入れ
2. 苗栗RCの51周年記念式典への大勢での参加
3. 当クラブ50周年記念式典への協力(姉妹・友好クラブの接待など)
4. 国際交流協会の事業への参加協力

ロータリー財団米山委員会

委員長 柴崎恵子君

ロータリー財団

(基本方針)

ロータリー財団補助金の積極的活用と寄付への理解と推進

(活動計画)

地区目標の達成

年次基金寄付 US\$150以上/人・年

ベネファクター(恒久基金) US\$1000. クラブ1名以上

ポリオプラス基金への寄付 US\$30/人・年

米山

(基本方針)

米山梅吉翁の「奉仕の精神」を継承し併せて米山記念奨学会事業に対して会員各位の理解を深めて頂くよう務める。

(活動計画)

米山奨学生支援として奨学生の卓話依頼

本年度はタイ出身、マドマンソピダさんの卓話予定

米山奨学生の学友活動をサポートする

米山梅吉記念館の支援と活用

50周年準備委員会

委員長 室伏勝宏君

皆様とともに記念すべき50周年事業を実行する組織の立ち上げを準備してまいります。

〈基本方針〉

「ありがとう50年、そして新たな時代へ」の本年度テーマのもとこれに相応しい実行委員会を組織する。

〈活動計画〉

・新年度スタート前に、主たる委員会メンバーを内定(委員長、副委員長)する。

・新年度早々に内定メンバー、理事、役員会等と協議しながら実行委員会を立ち上げる。



おめでとう

会員誕生日 森藤君、室伏君
入会記念日 千葉君
結婚記念日 内田君

スマイルボックス

- ◆遠藤(眞)君、2人目のひ孫が誕生しました。男の子です。
- ◆室伏君、先日スルガ会ゴルフコンペで優勝。一緒に回ってくれた関本文彦さん、ありがとうございます。

ROTARY NEWS

RI会長メッセージ

皆さまとご家族に謹んで新ロータリー年度のお祝いを申し上げます。この1年間を「もっと成長し、もっと行動する」1年にすることで、ともに人生で最良の年にしましょう。変革者の年にするので、まずは会員増強から。

だからこそ、「Each One, Bring One」(みんなが一人を入会させよう)が非常に大きな意味を持ちます。今年度は、ロータリーが皆さまの地域社会に、そして世界中に影響を広げられるような新しい方法を創出しましょう。各会員がひとり新しい会員をロータリーに紹介すれば、会員数は2022年7月までに130万人に達します。今すぐ始めましょう。

ロータリーの仲間が増えたら、私たちはロータリーとしてどんな変化が引き起こせることでしょうか。他者のために尽くす人が増え、みんなの人生を豊かにするために奉仕する人が増えるのです。もっと成長し、もっと行動することでどれほどの変化がもたらせるか、想像してみてください。会員数が増えれば、これまで以上に大規模で野心的な奉仕プロジェクトに取り組むことも可能になります。それに、一人ひとりがこれまで通り、地域社会のニーズに応じて自分のやり方で奉仕活動を続けることもできます。

ロータリーの素晴らしいところは、世界中で人によって奉仕の意味が違うところなのです。とはいえ、私たちみんなの奉仕活動に組みこむことのできるテーマがあります。女兒のエンパワメントです。残念ながら、この時代においても女兒は世界中で女兒であるがゆえに困難を抱えています。ジェンダー平等を牽引していく力がロータリーにはあります。教育、医療、雇用における女兒の地位向上、そしてあらゆる職業における平等をもたらすための女兒のエンパワメントは、これから立案するあらゆるロータリープロジェクトに組みこまれるべきです。女兒は未来のリーダーですから、彼女たちが自分の未来を形作るのを後押ししなければなりません。

授けられた最大の贈り物は
誰かの人生に触れる力

変える力、違いをもたらす力
めぐりゆく命の中で

手を、心を、魂を
差し伸べるなら

魔法が起こる
歯車が回りだす...

ともに歯車を回そう
全人類の繁栄のために

私たちには力と魔法がある
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために。

今、世界は苦難の時に直面しています。新型コロナウイルス対策における皆さまの活躍には目を見張るものがあります。ロータリアンにとって、克服できない難題というものはありません。難題が大きければ大きいほど、ロータリアンは燃えるのです。ポリオ根絶などの不可能に思われた難題にロータリーが取りくんだときに起こることを考えてみてください。きれいな水や衛生を改善することで、何百人もの人びとの暮らしをよくしてきた事実に思いを馳せてください。平和など実現不可能に思われた地域で、ロータリーが毎年平和を推進していることを思い出してください。ロータリーの基本的教育と識字率向上プログラムには国家を根幹から支える効果があります。

今年度は、そういった国家規模の効果と影響があるプロジェクトやプログラムに、今まで以上に力を入れていきましょう。今年、みんなの人生を豊かにしていこうではありませんか。

(週報担当:森藤賢)